




(ログイン) LOGIN完了!!

校長 酒井 徹雄

渺々万里第147号(4月号)で、「生徒・教職員・保護者の皆さん、一緒に静内高校にLOGINしましょう」と呼びかけました。

Lively(生き生きと)、Onward(前進し)、Guided(丁寧な支援のもと)、Important(地域にとって必要な存在として)、Nice(温かい絆を大切に)——この5つの想いが、「LOGIN」という言葉に込められています。

本来、LOGINとはシステムへの参加を意味する言葉ですが、私たちはそれを「自分の意志で、未来への扉を開くこと」と捉えています。

そして今、力強く宣言します——「LOGIN完了!!」

生徒・教職員・保護者・地域の皆さま、すべての静高ファミリーが心をひとつにし、確かにその扉を開きました。

前期において、とりわけ、職員会議で防災訓練を提案する生徒の姿には心を打たれました。自らの言葉で語るその思いが、7月30日の津波警報の際に、確かに命を守る力となったのです。

本校は行事が多い学校です。しかし、それは単なるイベントではありません。一つ一つに「感謝」があり、学校祭も陸上競技記録会も球技大会も「競争(競い争う)」のではなく「共走(ともに走る)」という精神があります。

だからこそ、学校も地域も心をひとつにできるのだと、私は信じています。

さあ、後期も、皆さんの熱い想いを「静高」にLOGINさせてください。そして、共に最高の高校生活を創りましょう。

保護者の皆さま、地域の皆さま。これからも変わらぬ温かなご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



生徒会選挙

生徒会部長 横堀 晃

9月9日(火)の6時間目に生徒会役員選挙および立会演説会を実施しました。立候補者は今後の学校生活をより良いものにするために実現したい公約を、応援演説者は立候補者の人柄や職務を遂行するために必要な資質をそれぞれステージでアピールしました。明日の静内高校をよりよくすることが出来る候補かどうかを見極めるため、生徒たちは真剣に

耳を傾け、スピーチが終わるたびに拍手が会場に起こりました。厚生委員長、体育委員長、交通安全委員長は立候補者不在により、今後、新生徒会長が推薦し評議委員会を経て後日認証される見込みです。後期より一年間、静内高校の今まで培った伝統を土台として、新たな視点と斬新な発想でよりよい学校生活を送るための活動や、学校行事の企画や運営に尽力する執行部の動きを期待しています。



球技大会

生徒会部長 横堀 晃

9月11日(木)、12日(金)に球技大会が行われました。天候にも恵まれ、前日には生徒会執行部の生徒を中心に体育委員や運営委員、部活動生徒の協力を得ながら、サッカーゴールの移動や本部テント設営など、競技の運営が円滑に進められるよう準備がすすめられました。1日目は、暖かい日差しの中で開会式が行われました。有志により選ばれた3年生4人が高校生活最後の球技大会に向けた思いを胸に、ユーモアを交えてさわやかな選手宣誓を行いました。最初の競技としてクラス全員による玉入れが実施され、その後はバレーボール、サッカー、ソフトボールなどに分かれ競技が始まり、それぞれ白熱した試合が展開されました。生徒は自分たちの出る競技の合間にクラスの応援や競技運営の手伝いと、休む間もなく校舎内外を元気に動き回り、今年度最後の大きなクラス対抗の行事を楽しんでいました。

2日目は、予選の結果をもとに決勝トーナメントが行われました。最近では1年生が優勝する競技もあり、上級学年が必ずしも勝ち上がるとは限らないため、最後まで総合優勝は分からず、それぞれのクラスが優勝に向けて、また少しでも順位を上げるために一層プレーや応援にも力が入り熱戦が繰り広げられました。決勝戦前にはシークレット競技として教員と生徒有志によるエキシビジョンマッチも行われ、生徒だけでなく、学校全体でスポーツを楽しむ日となりました。3年生にとっては、最後の大きな行事ですし、この行事をもって旧生徒会執行部が取り仕切る行事がすべて終わります。それぞれが、行事を通じて学校を盛り上げ、静内高校の伝統とよい校風に貢献する一助となったと思います。



1 日防災学校

防災委員会 岩垣 翔平

8月29日(金)に1日防災学校がありました。今年、初の試み。“丸一日、防災に関わる活動をする”をテーマに企画しました。内容は、石川県立能登高校さんから実体験を通したプレゼンテーションや地震から大津波警報発令を想定した避難訓練、消防による煙部屋脱出体験、新ひだか町役場による避難所体験(段ボールベッド等の作成)や非常食の試食・レシピの考案など、実際の時に備え、高校生が活躍できるように、防災意識を高めることができたと思います。3年次生は、避難所運営ゲーム「Do はぐ」の実施や柏台会館への高台避難の経路確認、危険箇所の把握、移動時間の確認をしました。地域における共助の主戦力として高校生は積極的に動いて活躍してほしいです。新ひだか町役場、自衛隊静内駐屯地、日高中部消防、日高振興局、能登高校、色々な機関にご協力していただきました。本当にありがとうございました。



学校説明会

総務部長 大森 裕介

9月16日(火)・22日(月)に学校説明会が行われ、中学校9校、中学生232名・引率教員16名・保護者46名が参加しました。

オリエンテーションでは情報ガイダンス部長の加納先生より本校の単位制の特色や高校入学後のカリキュラム選択など、進路指導部長の秋保先生より本校の進路学習や卒業後の進路状況などの説明がありました。また、ナナイロひだかの本校生徒による授業では新ひだか町の魅力を中学生に伝える授業が行われました。

6時間目には3グループに分かれて中学生は授業や施設の見学、放課後には部活動体験・見学や進学講習の見学が行われました。中学生は本校の特色や様子を知る機会となり、来年4月には一人でも多くの中学生が静内高校を入学することを強く期待しています。



令和7年度 教育実習について

教育実習担当 成田 亮花

9月8日(月)からおよそ3週間、本校にて角 幸志郎先生(保健体育科)と清水 連先生(英語科)の教育実習が行われました。この期間には球技大会や生徒会選挙の立ち会い演説会などがありました。配属されたクラスの生徒と球技大会に向けての練習をしたり、試合

結果を共に喜んだりする姿が見られました。また、部活動をはじめとした放課後活動にも積極的に参加していました。

そして、24日(水)に角先生、26日(金)に清水先生の研究授業が行われました。角先生は働くことの意義とその健康被害について、清水先生はバナナの病気である「パナマ病」についての授業を行いました。生徒たちも2人の授業に積極的に参加し、意見を出し合う様子が見られました。

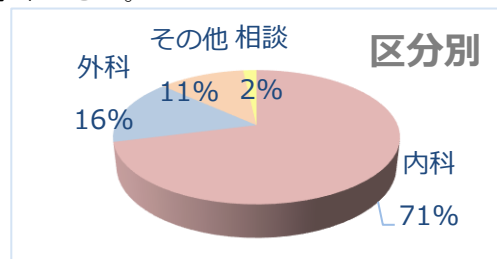
教育実習は終わってしまいますが、静高での経験を活かしてこの先もさらに活躍してくれることを願っています。



保健室利用について

養護教諭 永見 多映

9月18日までの今年度の保健室を利用した生徒の人数は887人(延べ人数)で、1日平均利用者数は10.8人です。来室理由としては内科的症状が約70%と多く、その内訳は多い順に頭痛(29.0%)、腹痛(11.4%)、気持ち悪い・吐き気(9.7%)となっています。外科的症状は擦過傷(23.0%)、筋腱痛(19.4%)、打撲(16.5%)の順に多く、体育行事のある7月、9月に多い傾向です。特に、7月は文化祭の準備などの疲れからか体調不良で来室する生徒が多かったです。また、9月も朝晩の冷え込みにより風邪症状を訴えて来室する生徒が多い状況です。これからさらに冷え込みが厳しくなる季節になってきます。各ご家庭でも体調管理にご留意ください。



10月の主な行事

1日(水)	開校記念日
2日(木)	後期始業式 身だしなみ指導
9日(木)	芸術鑑賞
13日(月)	スポーツの日
29日(水)～ 11月1日(土)	見学旅行(2年次)